

興陽高校 ICT ツールの運用規定

1 使用目的

生徒に対し、課題配布や遠隔授業、家庭学習の進捗状況を確認する等の学習支援、健康観察の手段として ICT ツールを活用する。さらに、安全でかつ効果的な学習支援ツールとしての活用を進め、国が推進しているギガスクール（高速ネットワーク）に対応した学習活動の充実を図る。

2 使用可能な I C T ツール

県が推奨し、県内でも導入実績のある学習支援システム「Google Workspace for Education」を使用する。具体的には「Google Classroom」を使ったオンラインホームルームを実施し、教材等の配信等を行う。また、YouTube による教材提供やホームページのブログ、興陽メールによる情報提供も行う。なお、利用できない生徒に対してはその他の手段を使って補完する。

3 使用アカウント

生徒一人ひとりにアカウントであるメールアドレスを配布する。許可されたアカウントを持たない外部の者はアクセスできない安全なネットワークとなっており、ログ等で電子メール等の使用履歴を確認することができる。

4 内 容

学習支援、健康観察に関することに限る。

令和2年4月に示された「わいせつ行為等根絶に向けた岡山県公立学校教職員行動指針」に示されている「私的な電子メールやSNSを使って児童生徒へ連絡すること」等の禁止事項を厳守した上で運用する。

5 使用時間

使用にあたっては、平日勤務日の勤務時間内（8:25～16:55）を基本とする。

6 使用場所

学校内での使用を基本とするが、自宅で勤務する場合には、自宅での使用も可とする。

7 使用端末

学校の端末を基本とするが、自宅で勤務する場合には、個人所有の端末の使用も可とする。